

応募票について	
下のそれぞれの応募部門専用の応募票をご使用ください。	
WEB公開を希望できる作品は1人1点です。 <u>その応募票にのみ</u> ○印を記してください。	
作品への貼付方法	
単写真 （モノクロ、カラー）：写真裏面の中央に応募票を貼付してください。	
組写真 ：幾枚か貼り合わせた中ほどの写真裏面に1枚応募票を貼付してください。	
写真集 ：裏表紙の内側に、応募票の一边を軽くテープ等で留めてください。	

応募票はコピーして使用可。また船橋市写真展ホームページからダウンロードできます。

応募票 第43回船橋市写真展 ※該当項目を○で囲んでください

部門	モノクロ単写真	撮影地	記入自由
題名	フリガナ 12文字以内		
氏名	フリガナ	年齢	歳
住所	電話番号 - - 〒		
WEB公開	この作品のみ公開を希望します。 ○印→		
主催者記入欄	受付番号		

応募票 第43回船橋市写真展 ※該当項目を○で囲んでください

部門	カラー単写真	撮影地	記入自由
題名	フリガナ 12文字以内		
氏名	フリガナ	年齢	歳
住所	電話番号 - - 〒		
WEB公開	この作品のみ公開を希望します。 ○印→		
主催者記入欄	受付番号		

切り取り

応募票 第43回船橋市写真展 ※該当項目を○で囲んでください

部門	組写真	撮影地	記入自由
題名	フリガナ 12文字以内		
氏名	フリガナ	年齢	歳
住所	電話番号 - - 〒		
WEB公開	この作品のみ公開を希望します。 ○印→		
主催者記入欄	受付番号		

応募票 第43回船橋市写真展 ※該当項目を○で囲んでください

部門	写真集	撮影地	記入自由
題名	フリガナ 12文字以内		
氏名	フリガナ	年齢	歳
住所	電話番号 - - 〒		
WEB公開	この作品のみ公開を希望します。 ○印→		
作品返却は写真集のみ	返却希望の方は○印→		
主催者記入欄	受付番号		

第43回 全国公募 開催要項

船橋市写真展

プリント応募コンテスト WEB上で作品公開

- A4プリントの送付・審査
- 写真集 = 北井一夫賞
- アマ・プロ・年齢問わず全国公募

主催 船橋市教育委員会 船橋市写真連盟
運営 (公財) 船橋市文化・スポーツ公社

どなたでもお気軽にご参加ください。
応募内容が従来と異なりますので、よくご確認ください。

- 【資格】 船橋市の文化芸術活動に関心のある方。アマ・プロ・年齢を問わず全国公募、どなたでも応募できます。
 - 【審査員】 北井一夫氏 中里和人氏
 - 【作品】 題材は自由です。 展覧会、コンテスト等で未受賞であれば応募できます。
 - 【応募料】 無料
 - 【応募期間】 送付受付 令和4年1月10日(月)～1月21日(金) 必着 (郵送等による応募になります)
 - 【送付先】 船橋市民ギャラリー 船橋市写真展係 〒273-0005 千葉県船橋市本町2丁目1-1 船橋スクエア21ビル3階
 - 【入賞発表】 令和4年2月14日(月) 船橋市写真展ホームページにて。(入賞者には直接通知いたします)
 - 【WEB公開】 令和4年2月14日(月)～3月25日(金) 船橋市写真展ホームページにて作品をスライドショー公開。
 - 【入賞作品展】 令和4年2月14日(月)～2月20日(日) 午前10時～午後6時30分 20日は午後3時まで 船橋市民ギャラリー
- ※全作品の総合展示、表彰式、解説会は実施できませんのでご了承ください。

【賞】 入賞は1人1賞です。

モノクロ単写真	部門ごとに・最優秀賞・優秀賞・奨励賞を贈ります。
カラー単写真	3部門の中から・写真連盟賞1点を贈ります。
組写真	
写真集	最優秀作品には「北井一夫賞」・優秀賞・奨励賞を贈ります。

【応募概要】

部門	応募点数	形態	応募方法
モノクロ単写真	1点	A4プリント、または四つ切印画紙	・全部門に応募いただけます。
カラー単写真	1点	A4プリント、または四つ切印画紙	・応募作品を一括封入して郵便、または宅配便でお送りください。
組写真	1組 2～5枚で構成	A4プリント、または四つ切印画紙 モノクロ、カラー、タテ、ヨコ自由。 それらを自由に組み合わせた構成も可。※詳細裏面参照	・必ず1作品ごとに応募票を貼付してください。 ・1人1点につき作品をWEB上で公開いたします。ご希望の1点を応募票でお知らせください。 ※詳細裏面参照
写真集	1点	サイズ、ページ数は自由。順に綴った冊子であること。※詳細裏面参照	

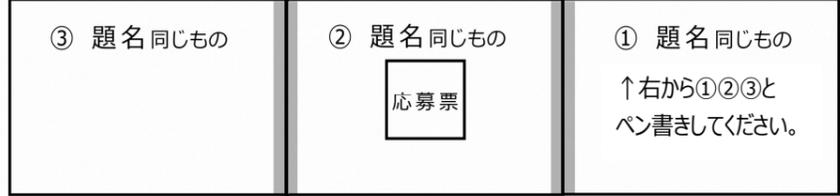
<裏面に続く>

■問い合わせ 船橋市民ギャラリー-TEL:047-420-2111 船橋市写真展ホームページ <https://www.f-bunspo.or.jp/gallery/>

船橋市写真展のすべての予定項目について、状況によっては中止、または変更することがあります。
右のQRコード(第43回船橋市写真展ホームページ)でご確認ください。



【応募詳細】

組写真について	
形態、構成 ・A4 プリントまたは 4 つ切り印画紙を使用して 2 ～5 枚で構成してください。 ・モノクロ、カラー、タテ、ヨコ自由。 それらを自由に組み合わせた 構成も可です。	送付に際して 作品の裏面に、並び順の番号①②③と「題名(同じもの)」を記入。 「応募票」は中ほどの写真に貼ります。写真をテープ ■ で止めて全てをつなげてください。  ※この図は一例です。枚数やつなげ方など図と異なる組み合わせの場合もこれに準じてください。

写真集について	
応募できるもの	※複数の写真で構成され、冊子として順番に綴られていること。※印画紙やプリント用紙などで構成した手作りのもの。※カメラ店やネット注文等で制作したフォトブック。※自身で印刷所等に発注し発行した出版物。※写真集自体が未受賞作品であること。（使用されている写真に受賞歴があるものは応募可） ※写真集の中で使われている写真は、単写真、組写真部門へも応募できます。
応募できないもの	※出版社が発行したもの。※価格表示があるもの（流通商品であるもの） ※写真集自体に受賞歴があるもの。（使用されている写真に受賞歴があるものは応募可） ※ファイルなどに写真を差し込んだだけのもの。※閲覧に電子機器等を利用するもの。
応募を控えるもの	汚損/紛失しては困る貴重なもの。
「北井一夫賞」について ※北井一夫賞は1人1度のみ授与のため、受賞後の市展では「北井一夫賞受賞者参考作品」として審査対象外での出品とします。※北井一夫賞受賞作品は、写真展終了後<船橋市西図書館>の蔵書といたします。（希望者のみ）	

WEB公開について
・複数部門に応募いただいた際も、WEB 上での公開は1人1作品となります。必ず、公開希望作品を「応募票」でお知らせください。 ・入賞作品については、船橋市写真展ホームページ入賞者発表ページで公開いたします。 <ul style="list-style-type: none">・組写真が公開希望の場合は、1画面の中に組全数を配置して公開いたします。・写真集が公開希望の場合は、本の表紙と主催者が選んだ写真1点を画面の中に配置して公開いたします。・公開作品には氏名、題名が表記されます。 WEB 公開期間： 令和4年2月14日(月)～令和4年3月25日(金) 船橋市写真展ホームページ「第43回船橋市写真展」にて、スライドショー形式で公開いたします。 ※主催者側で公開にふさわしくないと判断した作品は公開をとりやめることがあります。※被写体の肖像権等について主催者は関知できません、全て応募者の責任においてご対応ください。※公開された作品の閲覧は個人が楽しむもので、無断転載や商業利用は固くお断りします。

作品返却について
・写真集のみ希望者に返却いたします。写真集以外は返却いたしません。作品送付の際、写真集返送用の封筒を同封してください。 さらに 郵便の場合：写真集返送用封筒に必要額の切手を貼付してください。 宅配便の場合：着払い送り状（必要事項記入）を同封してください。 ※写真集返送用の封筒、切手または送り状が不備の場合は返却できませんのでご了承願います。

その他 ※年少者の応募作品については本人が撮影し、保護者が制作を支援することを可とします。※審査についての異議・質問は一切お受けできません。※送付中を含めやむを得ない事情で発生した事故にはその責を負いません。※取得した個人情報写真は写真展運営に関わることにのみ使用します。

審査員プロフィール

北井 一夫 (きたい かずお・写真家)

1944年、中国旧満州鞍山市生まれ。1965年、日本大学芸術学部写真学科中退。写真集「抵抗」未来社。1971年、写真集「三里塚」のら社。1972年、「三里塚」で日本写真協会新人賞受賞。1974年～1977年、アサヒカメラ「村へ」「そして村へ」連載。1976年、「村へ」で第1回木村伊兵衛賞受賞。1979年、アサヒカメラ連載「ドイツ表現派の旅」。1980年、写真集「村へ」淡交社。1981年、写真集「新世界物語」長征社。1990年、写真集「いつか見た風景」蒼穹舎。1994年、写真集「おてんき」宝島社。2001年、写真集「1970年代 NIPPON」冬青社。写真集「1990年代北京」冬青社。2004年、写真展タイムトンネルシリーズ「写真の形と時代」リクルート。2005年～2013年、日本カメラ連載「ライカで散歩」。2006年、写真集「'80フナバシストーリー」冬青社。写真展「村へ」東京国立近代美術館。2008年、写真集「ドイツ表現派 1920年代の旅」冬青社。2009年、写真集「Walking with Leica・1、2」冬青社。2010年、写真展「Kitai Kazuo in China 1973」禅フォトギャラリー。写真集「西班牙の夜」冬青社。2011年、写真集「Walking with Leica・3」冬青社。2012年、写真集「三里塚」がマーティン・パー編集の『プロテストボックス』（シュタイデル社）の1冊に選定、復刻される。写真集「バリケード」ハーバー・ブックス。写真展「バリケード」ハーバー・ブックス・ギャラリー（米国イースト・ハンプトン）。写真展「いつか見た風景」東京都写真美術館。写真展「過激派」禅フォトギャラリー。写真展「神戸港湾労働者」ギャラリー冬青。2013年、日本写真協会作家賞受賞。2014年、写真展「Color いつか見た風景」キャン・ギャラリー-S。写真展「村へ」ツァイト・フォト・サロン。写真集「道」禅フォトギャラリー。同写真展。2015年、写真集「抵抗・カラー補足版」自費出版。写真展「北京・1990年代」ツァイト・フォト・サロン。写真集「過激派」オンリーフォトグラフィー。2016年、写真集「津軽、下北」NZ[ナツアエリ・プレス]（米国）、同写真展禅フォトギャラリー。写真集「流れ雲旅」ワイズ出版。2018年、写真展「プロパガンダ」ピリケンギャラリー。写真展「フナバシストーリー」Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku。写真展「The Origins of Japanese Contemporary Photography」韓国、釜山、古隠写真美術館。2019年、写真展「シカグループ」ピリケンギャラリー。2020年、初のデジタルによる写真集「道」のら社。同写真展ピリケンギャラリー。写真集「過激派の時代」平凡社 2021年、写真展「千の葉の芸術祭 CHIBA FOTO「写真集の裏側」。写真集「Color いつか見た風景」合同会社 PCT。

中里 和人 (なかざと かつひと・写真家)

1956年三重県生まれ。1979年法政大学文学部地理学科卒業。日本の地誌的ランドスケープを中心に、社会的な場所性写真展、写真インスタレーション、写真ワークショップを各地で開催。社会的な場所性、地域特性を読み込んだアートイベント、写真インスタレーションとして、向島ネットワークス(東京都墨田区)、まちがミュージアム(富士吉田市)、WANAKIO(沖縄県那覇市)、越後妻有アートトリエンナーレ 2012、2015(新潟県十日町市)、SOFT CITY(ドイツ・ベルリン)、すみだ向島 EXPO2020 など多数開催。

主な写真展に 2015年「lux」新宿二コンサロン、2016年韓国テグ国際写真ビエンナーレ。2018年「小屋とMABU」越後妻有絵本と木の実の美術館企画、「SOFT CITY」ドイツ・ベルリン、「transitions」ドイツハンブルク「Night in Earth」銀座巷房、「光ノ漂着」銀座巷房、墨田区竹内建具製作所「東京プロジェクト Tokei-Tokyo」。写真集に『湾岸原野』（六興出版）、『小屋の肖像』（メディアファクトリー）、『キリコの街』（ワイズ出版）、『路地』、『4つの町』、『グリム』（清流出版）、『東京』（木土水）、『R』（冬青社）、『ULTRA』（日本カメラ社）、『龍宮』（sana-v）、『lux water tunnel land tunnel』（ワイズ出版）、『Night in Earth』（蒼穹舎）などがある。共著に『夜旅』文／中野純（河出書房新社）、『石はきれい、石は不思議』（INAX 出版）、写真絵本『こやたちのひとりごと』文／谷川俊太郎（ピリケン出版）、『東京サイハテ観光』文／中野純、『セルフビルド』文／石山修武（交通新聞社）、『花』花いけ／上野雄次（JIKONKA）。映像作品に『BOSO TIME TUNNELE』（sana-v）などがある。

東京造形大学教授。2018年日本写真協会賞審査員。2021年度三重県展審査員。

2003年第15回写真の会賞受賞。2005年さがみはら写真新人奨励賞受賞。

<http://www.nakazato.info/>